

老いよ 心ゆたかな人生のための仏教入門 土屋昭之 ド 来い！ 極楽浄土の世界がある

世間のモノサシに道理のモノサシを添えたところに
きわめて
極楽
やすらかに
浄
きよらかな
土
しんきよ
の世界がある

毎日を明るく生きたい。

病気になっても、老いてもイキイキとしていたい。

そんな人生を送るための、仏教的生き方のすすめ。



仏教の風400年

法蔵館／定価：本体1,000円（税別）

仏教・真宗

目次

まえがき 1

一、極樂へ往き生みたい…………… 11

昔むかし浦島は…………… 11

夢からさめた…………… 14

世間のモノサシと道理のモノサシ…………… 15

釈尊が示された道理のモノサシ…………… 16

二、仏教が説く四つの道理…………… 19

仏教の旗印—スローガン…………… 19

地獄・極楽が、仏教の言葉としてよく知られています。愛、愛敬、挨拶、愛着、阿吽、悪業、悪道、悪人、安心、安樂など、「あ行のあ」だけでも四十余、仏教の經典などから出ている言葉が、日々の会話に使われるほど仏教は身近です。

中でも地獄、極楽は、よく知られている言葉の代表でしょう。ですが知られているとはいっても、どこにあるのか、まして実在するなどとは思ってもいないのも事実です。

それでは、地獄や極楽が架空の存在なのかといわれたなら、答えは「ノー」です。地獄も極楽も実在するのです。しかし実在するとはいうけれども、生き方にかかわるだけに、極楽に到達できないのも現実です。

今日高齢化とともに、個々の関係も孤立化しつつある世をみると、極楽があるなら往つてみたいと思う人がいるにちがいありません。

釈尊の説かれた經典のひとつ『仏説阿彌陀經』には、注目の極楽浄土が説かれます。どこにあるかどうかは別にして、実在することを意味します。この書は、その道筋を明らかにして、心ゆたかな老いの人生を実現するためのものです。

畜生とは？	42
-------	----

四、三悪道からの解放	43
------------	----

三悪道はおそろしい	43
-----------	----

わずらい・悩みが生きる力	47
--------------	----

三悪道から解放される秘訣	50
--------------	----

五、念仏の意味	53
---------	----

なぜ念仏？	53
-------	----

念仏の深い意味	54
---------	----

二通りある念仏	56
---------	----

阿弥陀仏の正体	58
---------	----

ボディーの寿と、生きがいの命	59
----------------	----

道理一の「ノンストップで走り続ける列車に乗って生きる」

とはどういうことか……………23

道理二、何ひとつ自分の実体は無いとは、どういうことな

のか……………24

道理三、あらゆるものすべては、苦であるとは……………29

三、極楽のあり場所……………33

こころの到達点、極楽浄土（きわめてやすらかできよらか

な心境）で生きる……………33

極楽のあり場所……………34

智慧で生きるとは……………36

地獄のあり場所、それは家の中である……………38

餓鬼とは？……………41

七、目で見る「極楽・浄土」……………81

極楽浄土をあらわすお仏壇……………81

還る世界……………82

生まれてきた世界……………82

目で見る心の到達点……………84

鶴と亀……………85

仏の華……………86

極楽に舞う鳥……………88

私は無我・ゼロの身です……………61

念仏の真髓、生かされ生きていた 御礼の念仏……………64

無量なる寿よ、ありがとう……………66

極楽（きわめてやすらか）な心境への到達点……………68

六、念仏の功德……………70

仏仏相念―人間回復……………70

念仏って、いつ称える？……………71

五逆と正しい法を誹謗（そしる）するとは……………72

念仏の功德……………73

「法」の衣服って？……………77

極楽へ往こう！……………78

釈尊の覚りによって明らかにされた（いのち）の事実を立脚地として、釈尊の覚りを
信頼し歡喜して生きる（親鸞シリーズ第二卷『親鸞が出遇った釈尊』筑摩書房）

ことができますと記しています。

本書に述べたいくつかの道理のモノサシを、脳裏に刻んで生きるだけでも、生きかたが
変わります。

地獄のようなこの世を、極楽（きわめてやすらか）に生きることが可能になるでしょう。

あとがき

極楽浄土（きわめてやすらかできよらかな心境）とは、どんなものと思われましたか。読者のあなたから「それではあなたは、極楽浄土に到達したことがありますか」と問われても、「それはわからない」と答えるほかありません。ですが、釈尊の教説に従えば、極楽浄土への道筋は明らかでしょう。

仏教は、キリスト教やイスラム教のような一神教とは、その性格が異なり、「なにもない無我・ゼロから人として生命を受けたことがすばらしい」をはじめとする、万人が元気に生きる「道理」を教えるもの、という受け止めが理にかなっています。

紀元前五百年、釈尊は仏陀となりました。ブッダとは Buddha と書き、中国では「覚者」と訳され「道理に目覚めたる者」を意味します。つまり二千五百年の時空を超え、人類普遍の「生きる道理」をあきらかにした「人」のことをさします。

仏教とは「仏陀（釈尊）の教え」という意味のほかに、自らも「仏になる教え」と解釈するように、私たちも道理に目覚めて仏陀になることができることを意味しています。元大谷大学学長小川一乗氏は、

心に響く3分間法話
老いて出会うありがたさ

目覚めれば弥陀の懷

小児科医が語る觀覺の教え

なごりおしく思えども 婆婆の縁つきて

お寺は何のためにあるのですか？

何のために人間に生まれたのか

生き生きとした老後を送るために

人生と仏教 心の肌を潤いを

圓日 成道著 一、〇〇〇円

駒澤 勝著 一、八〇〇円

尼子 哲也著 一、八〇〇円

撫尾巨津子著 一、〇〇〇円

長久寺徳瑞著 一、五〇〇円

太田 受宣著 七六二円

瀧 含雄著 六八〇円

価格税別

法 藏 館

土屋昭之（つちや しょうし）

1941年静岡県に生まれる。

1963年静岡大学教育学部卒業。

小中学校の教員を経て、保護司として少年たちと接する。

真宗大谷派成真寺前住職

著書 『少年少女の仏教』（朝日新聞社）

『人間回復—仏教が教えるいじめゼロの世界』

（幻冬舎ルネッサンス）

老いよドンと来い！

—心ゆたかな人生のための仏教入門—

二〇一〇年二月一〇日 初版第一刷発行

著 者 土屋昭之

発行者 西村明高

発行所 株式会社 法蔵館

京都市下京区正面通局丸東入

郵便番号 六〇〇—八一五三

電話 〇七五—三四三〇三〇（編集）

〇七五—三四三二五六（営業）

装幀者 井上二三夫

印刷 立生株式会社 製本 清水製本所

© Tsuchiya 2010 Printed in Japan

ISBN 978-4-8318-8700-9 C0015

黒丁・落丁の場合はお取り替え致します



9784831887009

ISBN978-4-8318-8700-9

C0015 ¥1000E



1920015010001

定価：本体1,000円(税別)

来^ド老 い^ンい ![!]とよ

地獄や極楽が架空の存在なのかといわれたら、答えは「ノー」です。地獄も極楽も実在するのです。本著に述べたいくつかの道理のモノサシを、脳裏に刻んで生きるだけでも、生きかたが変わります。地獄のようなこの世を、極楽(きわめてやすらか)に生きることが可能になるでしょう。